

### データトラブル発生直後の対応は大事

データのトラブル（ハードディスク破損・データ消失・データ損失）直後に、どのような対応を行ったのかによって、2次障害など、復旧作業に深刻な影響を及ぼすことになります。データ復旧はトラブル発生直後の適切な対応から始まります。

### データトラブル後にすべきこと

**まずは、落ち着いて安全な方法でシステムを止めて下さい。**

安易にデータ復旧を試みたり、再起動させたりしないで下さい。状態をもっと悪化させることもあります。[データ復旧](#) 専門家の正確な判断が求められますので、トラブル発生時の状況などを正確にお伝えください。

**電源のON/OFFを繰り返さないで下さい。**

いつもと違う動作音（異音）が聞こえる場合はすぐシステムを停止させ電源を切ってください。その後、電源のON/OFFを繰り返さないで下さい。2次障害を生じさせる危険性があります。

**ウイルス対策ソフトの使用は慎重に**

ウイルス対策ソフトの使用によりデータに変化を起こしデータ復旧が出来なくなる事もあります。ウイルス情報とソフトの機能を熟知後、使用してください。

### [ウイルス感染によりデータが損傷された場合](#)

**ソフトウェア（Software）のインストール及びデータ保存はしないで下さい。**

データが削除された後には新しいソフトウェア（Software）をインストール（Install）や、他のデータの保存は上書きの危険性があります。新しく情報が上書きされた部分はデータの修復ができません。

**パーティション（Partition）を再構成した場合**

パーティション(Partition)の変更・移動・再構成中にパーティション(Partition)情報が損傷され、ハードディスクが正常に認識されなくなる障害も多く発生しております。

データ復旧のために応用プログラムを実行させたり、フォーマットを行ったりするとデータ復旧率を落とすことになりますので、注意しなければなりません。

障害発生後何もせずにご相談いただければデータ復旧はまず可能です。データ復旧研究センターにご連絡ください。

**復旧ソフトをご使用する場合は、注意事項、機能をよく読んでから実行させて下さい。**

データ障害が発生したハードディスク（Hard Disk）から復旧用のソフトウェアを実行すれば、データ復旧率を落とす一番の原因となりますので、注意をしなければなりません。ハードディスクの電氣的、機械的な問題の場合にはかえって症状を悪化させることもあります。

なぜなら多くのファイルデータ復旧用ソフトウェアは、メディアが正常に働いていることを想定して作動するからで

す。

**物理的な問題と予想される場合は、絶対に電源を入れないで下さい。**

ハードディスクを落としてしまった場合や外部から強い衝撃を受けた場合、異音がする場合などには、絶対に電源を入れないで下さい。

ハードディスクを落とし衝撃が加わると、ヘッドとディスクがクラッシュされることがありますので、その状態でモーターを回転させるということは後戻りの出来ない致命的な損傷を与えることを意味します。

すぐに[データ復旧](#)研究センターまでご相談ください。

**不良セクタ (バッドセクタ、Bad Sector)により読み書きエラーが発生した場合**

不良セクタ (バッドセクタ、Bad Sector)が発生した場合ディスクユーティリティを実行することは、とても危険です。

まず、復旧専門家にご相談下さい。

不良セクタとはディスクの物理的な損傷により、データを記録できなくなってしまったセクタのことをいいます。

[不良セクタ詳細はこちら](#)

**水に浸かった場合は乾かさないうで下さい。**

浸水されたメディアのデータ復旧の可能性は意外に高いです。絶対電源を入れないでください。濡れたタオルなどでハードディスクを包み、出来るだけ濡れた状態を維持させながらご相談下さい。

いち早くデータ復旧を始めることがデータ復旧率を高める唯一の方法です。

[落雷、火災、浸水により損傷を受けた場合](#)

**火災の場合**

火事の場合も浸水の場合と同じで、拭いたり乾かしたりしないで下さい。なるべく元の状態を保ちながらデータ復旧を依頼して下さい。

[落雷、火災、浸水により損傷を受けた場合](#)

**データの論理的な障害とは**

フォーマット/削除 (Format/Delete)など人為的なミスやウイルス感染によるデータ損傷を論理障害と分類します。

メディアの破損による物理障害より復旧の可能性は高いですが、損傷後のデータ上書きによる復旧不可も少なくありません。

[論理障害の例](#)

**物理的な障害とは**

熱、湿気、電氣的・物理的衝撃による、不良セクタ発生、ヘッド・モーター・基盤の損傷などメディアに直接的な障害が起きた場合物理的な障害といえます。

カバーを開け、部品交換が必要になると[クリーンルーム作業](#)など高度な技術が求められます。

## [物理障害の例](#)

### 平均データ復旧率

[データ復旧](#)は、その障害内容と障害の程度、障害発生後のあと処理などによって復旧率が大きく変わります。データ復旧のエキスパートデータ復旧研究センターの平均データ復旧率は論理障害・物理障害を合わせ90%以上です。次のデータ復旧率は2007年1年間ご依頼されたデータ復旧の結果を基準に作成されたものです。

## [データ復旧率に関する統計](#)

### データトラブルを防ぐために

データが消失・損失される最も多いケースは、OS(オペレーティングシステム)とデータを1つのパーティションに保存しておき、パソコンが壊れたときにゴースト(ghost)または復元CDを利用して、ハードディスクをすべて初期化するケースです。

## [データトラブルを防げる方法](#)

### 正しいデータ保存方法

今、私たちのパソコンにはどれだけのデータファイルが保存されているのでしょうか。100、200、ユーザーによってその重要度や数に違いはありますが、ユビキタス時代を生きている我々にとってそのデータは時間とともに増えて行きます。

## [正しいデータ保存方法は？](#)